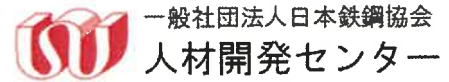




カワセミだより 2026年5月



拝啓

新緑の候 貴社におかれましては益々ご清栄の段 心よりお慶び申し上げます。

平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

4月より弊センターは学校法人鉄鋼学園から、一般社団法人日本鉄鋼協会に事業移管されました。遅くなりましたが、今年度の研修パンフレットを添付いたします。紙面配付は印刷出来次第、郵送いたします。

尚、誠に勝手ながら、去年の受講予定アンケートから、研修場所(形態)、日程を変更しております。日程変更につきましては、受講者様の調整をしていただき、予定の受講者数を確保いただければ幸いです。

表. 研修場所(形態)の変更

対象研修	アンケート	パンフレット
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者アドバンス研修 ・監督者テーマ別研修 ・若手社員テーマ別研修 	ホテルクラシア (合宿)	ARIC (宿泊)

表. 日程変更

対象研修	アンケート	パンフレット
・私のマネジメント研修	第 58 回 11/11~13	10/7~9(前倒し)
・監督者アドバンス研修	第 201 回 1/27~29	10/21~23(前)
・管理者テーマ別研修	第 173 回 6/24~26	8/19~21(後)
	第 174 回 10/7~9	11/11~13(後)
	第 175 回 3/17~19	2/3~5(前)
・中堅リーダー研修	第 156 回 11/18~20	11/24~26(後)

・若手社員テーマ別研修	第 88 回	2/3～5	1/27～29(前)
・監督者ヒューマンスキル研修	第 124 回	12/9～11	12/21～23(後)
・プレゼンテーション研修	第 19 回	6/16～17	9/8～9(後)
・職場の問題解決法研修	第 145 回	3/3～5	11/18～20(前)
・鉄鋼材料技術講習	第 98 回	3/10～12	3/24～26(後)
・厚板商品研修	第 12 回	8/20～21	10/15～16(後)
・棒鋼・線材商品研修	第 8 回	10/22～23	8/20～21(前)
・ステンレス鋼商品研修	第 6 回	5/21～22	1/25～26(後)

最後になりましたが、日本鉄鋼協会への事業移管後も、研修と通信教育を通じ、貴社のご発展に寄与する弊センターの使命は変わりません。今後、より一層精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

敬具

皆様とともに半世紀 新たな組織で、再び一步を！

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より弊センター開催の研修・技術講習等に、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

人材開発センターは、研修事業と通信教育事業を通して鉄鋼関連社員の知識や能力をレベルアップさせることで、鉄鋼業界の発展に寄与することを理念とし、1974年に（学）鉄鋼学園産業技術短期大学に設置されましたが、鉄鋼学園および一般社団法人日本鉄鋼協会との合意により、人材開発センター事業は、2026年4月1日から日本鉄鋼協会に事業移管されました。

本移管は、我が国の鉄鋼業界における人材育成のさらなる充実を目的とするものであり、引き続き業界の発展に資する人材育成活動を推進してまいります。これまでご提供してまいりました各種研修・通信教育サービスにつきましては、従来通り継続してご利用いただけます。顧客の皆様におかれましては、今後も安心してサービスを活用いただけますように体制を整えてまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

人材開発センター 事務長 高部 秀樹



各スタッフより

古田研修グループリーダー

「俺の背中を見て育て」は古い？3年以内に3人に1人が離職する時代。セオリーを知って、創意工夫をし、向上心がある。そんな背中を堂々と後輩に見せられるカッコいい先輩がいたら、「離職なんてとんでもない。この人と一緒に仕事をしたい。」という声が聞こえるのではないのでしょうか？我々の研修が、背中を見せる先輩のアップスキリングに貢献できれば幸いです。



沼田研修講師

製造現場では環境の変化に伴って、多様で複雑な未知の課題が増えて来ています。今まで以上に自ら考えて行動を起こせるように、変化させることが望まれる世の中になって来ているように思います。

課題解決の為の手がかりを研修で見つけていただき、解決の手助けができればと思います。



影久研修講師

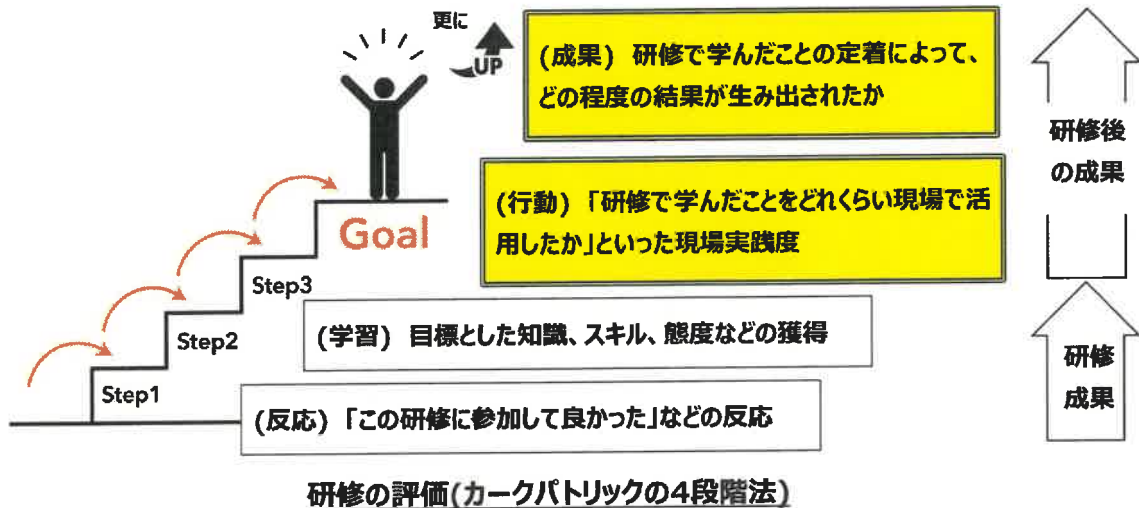
研修では単なる知識習得にとどまらず、職場の課題解決やチームの信頼づくりに直結する実践的な学びを重視します。受講者一人一人の強みを引き出し、変化に柔軟に対応できる組織力を共に高め、現場で成果につなげていきましょう。積極的な参加をお待ちしています



目次

現場で活かす「できる」研修！	1
人材開発センターの概要	3
研修・講習、通信教育の体系	5
各研修・講習の狙い	7
研修・講習 年間実施予定	9
研修・講習 概要	
1 管理者セミナー	11
2 私のマネジメント研修（旧管理基礎研修）	12
3 監督者アドバンス研修	13
4 監督者テーマ別研修	14
5 中堅リーダー研修	15
6 若手社員テーマ別研修	16
7 新入社員研修	17
8 ザ・仕事の教え方研修	18
9 実践！リーダーのためのコーチング研修	19
10 監督者ヒューマンスキル研修	20
11 コミュニケーションスキル研修	21
12 レジリエンス“ヤリガイ向上”研修	22
13 プレゼンテーション研修	23
14 職場の問題解決法研修	24
15 鉄鋼材料技術講習	25
16 薄板商品研修	26
17 厚板商品研修	27
18 鋼管商品研修	28
19 棒鋼・線材商品研修	29
20 ステンレス鋼商品研修	30
研修の申込から参加までの流れ	31
研修及び宿泊施設	32

現場で活かす「できる」研修！ 人材開発センター



私たち人材開発センターは、研修での成果に止まらず、研修後の成果に結びつく「できる」研修を目指します。

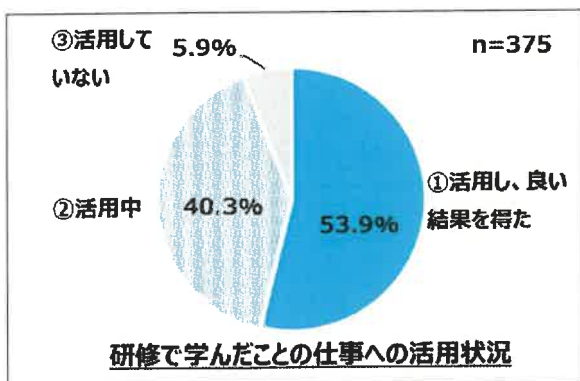
2025年度フォローアップアンケート結果

研修後、半年から1年経過した受講者様へ、研修で学んだことの活用状況をお尋ねしました。
 (対象研修実施期間：2024/7～2025/1、アンケート期間：2025/7～11)

Q1. 研修後の状況としてあてはまるものをお答えください。

- ① 研修で学んだことを、仕事で活用し、良い結果が出た
- ② 研修で学んだことを、仕事で活用した(している)が、まだ結果が出ていない
- ③ 研修で学んだことを、仕事で活用しなかった

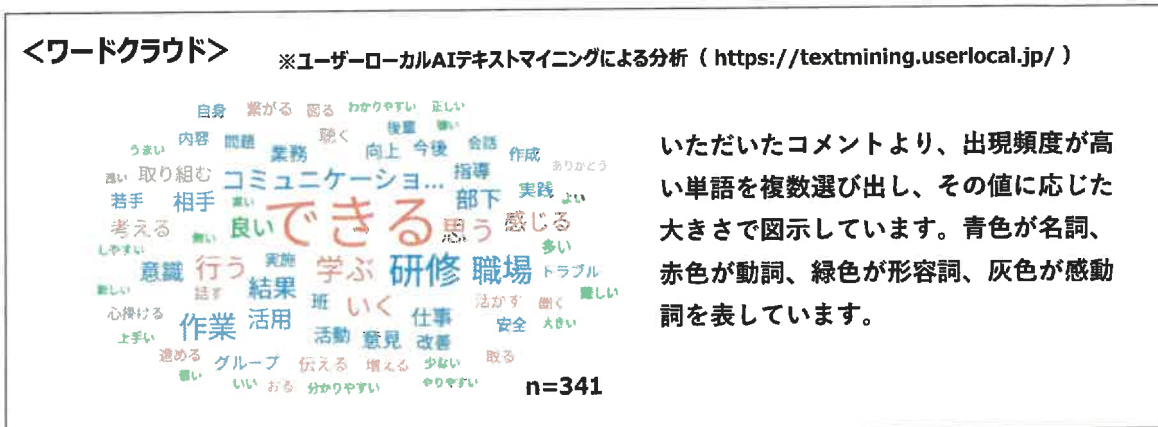
Q1. アンケート結果



90%以上の方が研修で学んだことを活用され、50%以上の方が成果をあげられています。

Q2. Q1で①、②とお答えになった方
 いつ、どのような場面で活用されましたか？
 どのような結果がでましたか、もしくはでそうですか？

Q2. アンケート結果



<Chat GPTによる要約>

【研修効果の総括】

研修全体を通して、「考え方」と「行動」の両面で大きな変化が確認された。

特に、**コミュニケーション改善・育成能力・問題解決力**の伸びが顕著で、各職場で実務改善につながる具体的成果が多く報告されている。

研修内容が単なる知識習得に留まらず、日々の業務において実際に**“使われている”**点が大きな特徴である。

【効果の分析】

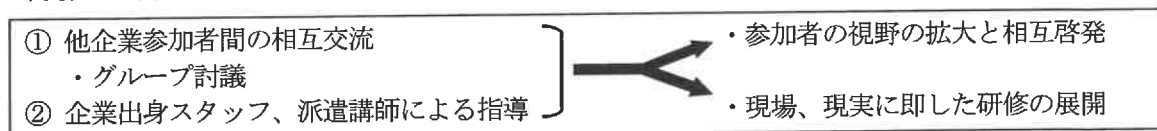
カテゴリ	主な効果	総括
① 職場内コミュニケーションの改善	<ul style="list-style-type: none"> 声かけや報連相の質向上 相手の立場を尊重する姿勢の定着 他部署・初対面との会話が円滑に 要点を押さえた伝達が可能に 	職場の風通しが改善し、連携強化・業務効率向上につながっている。
② 若手育成・後輩指導の質向上	<ul style="list-style-type: none"> 段階的指導や理解度確認が定着 若手が主体的に行動 ピグマリオン効果を実践 新入社員・班長候補などの育成に活用 	育成の質が向上し、若手の自立が加速している。
③ 問題解決力・業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 原因追究の実践 手順書・点検方法の見直し JK活動で治具作成や効率化 IT改善の推進 	改善成果が多数生まれ、効率化・再発防止に寄与している。
④ 安全意識の向上・リスク低減	<ul style="list-style-type: none"> 過去災害の学びの活用 基本動作の徹底 KY・安全指導書の改善 設備点検の強化 	安全文化が浸透し、リスク低減が確実に進んでいる。
⑤ 個人の成長・リーダーシップ向上	<ul style="list-style-type: none"> 冷静な判断が可能に 自己振り返りの習慣化 伝達力向上 リーダーとしての責任感強化 	自己管理・リーダーシップが向上し、チームに良い影響を与えている。

人材開発センターの概要

1. 沿革

- ・1974年：鉄鋼各社が、鉄鋼関連会社で働く全従業員を対象に、時代の要請に応じた人材育成を図り、鉄鋼業界の進歩・発展に寄与することを目的に（学）鉄鋼学園鉄鋼短期大学（現、産業技術短期大学）内に人材開発センターを設置し、研修事業開始
- ・1976年：通信教育事業開始
- ・2026年4月1日：（一社）日本鉄鋼協会に事業移管

2. 研修・講習の特色



（運営方針）

- ① 鉄鋼関連会社の人材開発ニーズを的確に把握し、常に皆様に有意義で求められる研修、通信教育を実施します。
- ② 新しい時代の要請を正確に捉え、新しい研修、新しい通信教育を積極的に開発します。
- ③ 「明るく、楽しく、前向きに」を、モットーに、研修、通信教育事業を運営します。

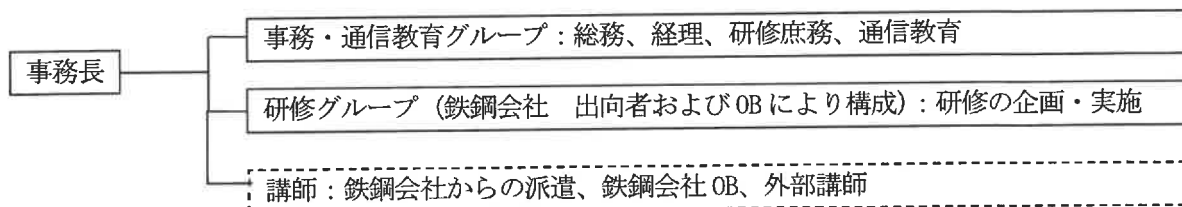
3. 組織機構

(1) 機構

（一社）日本鉄鋼協会の生産技術部門で人材開発センター事業を行います。

(2) 人材開発センター事務局の組織

下図は、人材開発センターの事務を処理するための人材開発センター事務局の組織です。



4. 事業内容

(1) 研修・技術講習事業

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① 管理者セミナー | ⑫ レジリエンス“ヤリガイ向上”研修 |
| ② 私のマネジメント研修(旧管理基礎研修) | ⑬ プレゼンテーション研修 |
| ③ 監督者アドバンス研修 | ⑭ 職場の問題解決法研修 |
| ④ 監督者テーマ別研修 | ⑮ 鉄鋼材料技術講習 |
| ⑤ 中堅リーダー研修 | ⑯ 薄板商品研修 |
| ⑥ 若手社員テーマ別研修 | ⑰ 厚板商品研修 |
| ⑦ 新入社員研修 | ⑱ 鋼管商品研修 |
| ⑧ ザ・仕事の教え方研修 | ⑲ 棒鋼・線材商品研修 |
| ⑨ 実践！リーダーのためのコーチング研修 | ⑳ ステンレス鋼商品研修 |
| ⑩ 監督者ヒューマンスキル研修 | |
| ⑪ コミュニケーションスキル研修 | |

(2) 出張研修事業

出張研修（講師派遣）もぜひご相談下さい。貴社にマッチングした研修をお届けします。
特に、当センター開催の⑨実践！リーダーのためのコーチング研修、⑩監督者ヒューマンスキル研修、⑪コミュニケーションスキル研修、⑭職場の問題解決法研修の講師派遣をいたします。
また、鉄鋼関連技術に関する講座、講演、セミナーもご相談ください。

(3) 通信教育事業

- ① 基礎科目： 9科目〔数学、物理、化学〕
- ② 共通科目： 19科目〔機械、電気、計測、製図、油圧、鉄鋼概論、金属材料 など〕
- ③ 部門科目： 42科目〔製銑、製鋼、分塊、条鋼、厚板、薄板、鋼管の各部門〕

人材開発センターの個人情報取扱いについて

1. 人材開発センターでは、企業で働く人々を対象に「研修・技術講習」および「通信教育」を中心とした教育事業を行っています。
2. 人材開発センターでは、こうした教育事業の運営に必要な最小限の個人情報（受講者の氏名、年令、会社名、所属、役職等）を、各受講者あるいは派遣企業から取得させていただきます。
3. 人材開発センターでは、直接または間接的に取得させていただいた個人情報は、当センターの教育事業に必要な範囲でのみ利用し、それ以外の目的では利用いたしません。
4. 人材開発センターは個人情報保護の重要性を正しく認識し、善良なる管理者の注意をもって、個人情報の適正な管理と保護を行っています。
5. 人材開発センターの研修・講習会等では研修を効果的かつ有意義なものにするため、受講生名簿や事前準備いただく個人情報シートを受講生相互に開示、資料交換を行っています。
6. 個人情報の取り扱いに関する要望、問合せなどには適切かつ迅速な処理をいたします。

■ 研修・講習、通信教育の体系

研修・講習	
階層別	対人能力向上など
管理者	<p>管理者セミナー</p> <p>私のマネジメント研修</p> <p>実践！リーダーのためのコーチング研修</p> <p>コミュニケーションスキル研修</p> <p>プレゼンテーション研修</p>
スタッフ	<p>監督者アドバンス研修</p> <p>監督者ヒューマンスキル研修</p> <p>レジリエンス「ヤリガイ向上」研修</p>
係長・作業長	<p>監督者テーマ別研修</p> <p>ザ・仕事の教え方研修</p>
班長・主任	<p>中堅リーダー研修</p>
中堅	<p>若手社員テーマ別研修</p>
若手	
新人	<p>新入社員研修</p>

	研修・講習			通信教育		
	技術・改善					
管理者						
スタッフ	職場の問題解決法研修	鉄鋼材料技術講習	薄板・厚板・鋼管・棒線・ステンレス鋼商品研修	基礎科目 数学・物理・化学	共通科目 機械・電気・計測・製図・油圧他	部門科目 製鉄・製鋼・厚板・条鋼・薄板他
係長・作業長						
班長・主任						
中堅						
若手						
新人						

各研修・講習の狙い

No.	研修・講習名	対象者	期間	狙い
1	管理者セミナー	課長・室長 クラス	1泊2日 合宿研修	各界の権威者による多彩でホットな講義を通じて経営者視線まで視野の拡大を図ること、及び他社の管理者との討議を通じて相互啓発、意識改革を図ることを狙いとします。
2	私のマネジメント 研修 (旧管理基礎研修)	管理者、係 長・作業長 及びその候 補者	2泊3日 宿泊研修	アクティブラーニングで管理者としてのスキルを腹落ちさせ、皆様らしいあり方、やり方を発見していただくことで、自職場の問題点や課題を解決する道筋を立てていただきます。
3	監督者アドバンス 研修	係長・作業 長および その候補者	2泊3日 宿泊研修	監督者は、企業をとりまく情勢の変化に柔軟に対応できるマネジメント能力やリーダーシップが求められています。本研修では講義を通じて視野を広げながら、他社交流を通じて監督者としての行動変容につなげることを目指します。
4	監督者テーマ別 研修	監督者クラ スおよび その候補者	2泊3日 宿泊研修	職場の年齢構成や若者の労働観の変化などに直面し、監督者は日々悩みを抱えています。本研修ではテーマ別に同じ悩みを抱える仲間と討議することで、ご自身で解決の糸口をつかんでいただきます。
5	中堅リーダー 研修	今後職場の 中核となっ て活躍して 欲しい人	2泊3日 宿泊研修	昨今の環境変化が激しい時代には、メンバー一人一人がリーダーシップを発揮することが望まれています。本研修では、職位によらないリーダーシップを経験学習し、職場に良い影響を与えるリーダーの育成を目指します。
6	若手社員テーマ別 研修	後輩ができた 若手社員	2泊3日 宿泊研修	若手は、現場の技能伝承の受け皿となる重要な階層で、自律主体的な姿勢と意識改革が望まれています。共通課題のグループ討議を通じてコミュニケーションの取り方、大切さへの気付きと問題解決に対する主体性、解決力を高めます。
7	新入社員研修	新入社員	4泊5日 宿泊研修	学生から社会人へのマインドチェンジを図ります。社会人としての、コミュニケーション能力、積極性・自主性、チームワークを養成します。
8	ザ・仕事の教え方 研修	部下、後輩 に仕事を教 える立場の 方	2日間 通い研修	他の研修で、指導者が教え方を知らないという問題が度々聞かれます。教え方のセオリーのみならず、トレーナーのあり方を含め考えます。
9	実践！ リーダーのための コーチング 研修	管理・監督 者から中堅 のリーダー クラス	2日間 通い研修	現場で、メンバーが主体性を持って最大限の能力を発揮する活発な組織運営を実現するためにリーダーが持つべきコーチング技術を身につけていただくことを目指します。

No.	研修・講習名	対象者	期間	狙い
10	監督者ヒューマンスキル研修	監督者および候補者、スタッフ	2泊3日 宿泊研修	ヒューマンスキルの各要素を経験学習し、自己成長につなげていただくことを狙いとしています。更に自己成長を組織の成長につなげ、より生き生きとした職場づくりにつなげていただきます。
11	コミュニケーションスキル研修	管理・監督者から若手までの幅広い各層	3日間 通い研修	年齢ギャップなどの問題で、コミュニケーションに悩みを抱える方が多く見られます。この研修では、理論だけではなく、「伝達力」、「聴解力」、「対話力」を通じ、コミュニケーションのツボを体験学習します。
12	レジリエンス“ヤリガイ向上”研修	現場従業員の方	1泊2日 合宿研修	定年延長に伴う職場の高齢化が進む一方、役職の若返り化も進みつつあります。これらの状況によりストレスを高める現場従業員の方が新たに挑戦、成長する機会をつかみ、前向きな一歩を踏み出していただくことを目指します。
13	プレゼンテーション研修	若手からベテランまでの幅広い各層	2日間 通い研修	プレゼンテーション能力は、聞き手の心を動かして、望んでいる行動をとってもらおうコミュニケーション能力の一つです。本研修では、小集団活動の発表能力、日常業務での伝達や職場でのコミュニケーション能力向上を目指します。
14	職場の問題解決法研修	若手からベテランまでの幅広い各層	3日間 通い研修	現場は宝の山です。1)問題意識を持ってあるべき姿を描き、2)論理的思考で分析し、3)創造的な解決(対策)策を立案し、4)問題を解決する力を養う研修です。
15	鉄鋼材料技術講習	鉄鋼製造や鉄鋼製品を使用する仕事に携わっている方	3日間 通い研修	鉄鋼材料の特性や使い方等を学習していただく基礎知識習得講座です。 ・鉄鋼製造プロセスと金属学 ・実際の材料試験を見学、データを整理、解説を受け、講義内容の理解を深めます。
16 ～ 20	各商品研修(薄板、厚板、鋼管、棒鋼・線材、ステンレス鋼)	各商品の商社、加工メーカー等の営業系社員	2日間 通い研修	各商品の基礎知識を習得します。 ・種類と特徴 ・製造工程と規格、試験方法など

No	コース名	掲載ページ	日数	費用(円) 消費税込	2026年												2027年			開催場所
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
16	薄板商品研修	26	2日間	55,000				第26回 9~10									第27回 18~19			鉄鋼会館 (東京日本橋)
17	厚板商品研修	27	2日間	55,000								第12回 15~16								鉄鋼会館 (東京日本橋)
18	鋼管商品研修	28	2日間	55,000										第10回 26~27						鉄鋼会館 (東京日本橋)
19	棒鋼・線材商品研修	29	2日間	55,000					第8回 20~21											鉄鋼会館 (東京日本橋)
20	ステンレス鋼商品研修	30	2日間	55,000													第6回 25~26			鉄鋼会館 (東京日本橋)

1. 開催場所のARICは尾崎リサーチ・インキュベーションセンターの略称です。
2. 誠に勝手ながら、当センターの都合により研修日程や開催会場などを変更することがありますので予めご了承ください。
3. *印の研修は講師を派遣する出張研修も対応可能です。個別にお問い合わせください。その他も、個別にご要望ございましたら検討させていただきますのでお問い合わせ願います。

— 管理者の視野拡大を図る —

狙い

- ・各界の権威者による多彩でホットな講義を通じて経営者視線まで視野の拡大を図る。
- ・他社の管理者との討議を通じて相互啓発、意識改革を図る。

対象者

課長・室長クラス

募集人数:18名/回

最少催行人数:8名

開催期日(1泊2日合宿研修)

第81回 12/3(木)~4(金)

参加費

106,000円/名

(宿泊費・食費含む、消費税込)

場所

L stay & grow 晴海(東京)



特徴 ~ 講師陣

1. 企業経営部門

沖コンサルティングソリューションズ(株)

シニアマネジメントコンサルタント

杉尾 俊之先生

2. 国際部門・環境部門

国際環境経済研究所 理事長

元新日本製鐵 北京事務所長

小谷 勝彦先生

ほか

カリキュラム(予定)

<事前課題>

- ・グループ討議①及び②用事前課題
- ・講義聴講前の質問票①及び②

<1日目>

9:00 開始 講義「企業経営部門」
 12:15 昼食
 13:30 講義「国際部門」「環境部門」
 16:30 グループ討議①
 18:30 夕食・懇親会
 20:00 終了

<2日目>

9:00 「経営者と不確実性①」

12:00 昼食

13:00 「経営者と不確実性②」

15:30 グループ討議②

16:00 終了

受講者様の有意義度ご評価
 4.5 (5点法)

受講者様の声

- ・各講義で”変革”や”経営”という点を非常に意識させられ、大いに刺激を受けた。自分たちで作っていくという意識をもつことができた。(30代)
- ・同業他社の同世代(同職制)と集まれる場は非常に貴重。日本の鉄鋼業が未来にむけてどう進むのがよいか、その為私たちに管理者はどう取り組めばよいかを議論出来て更によかった。(40代)

— 私らしい管理者スキルを発見し、課題に取り組む —

狙い

アクティブラーニングで管理者としてのスキルを腹落ちさせ、皆様らしいあり方、やり方を見つけていただくことで、自職場の問題点や課題を解決する道筋を立てていただきます。

対象者

管理者、係長・作業長及びその候補者

募集人数:20名/回

最少催行人数:6名

開催期日(2泊3日宿泊研修)

第58回 10/7(水)~9(金)

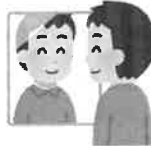
場所

ARIC

マネジメント



管理



参加費

99,000円/名(宿泊費・食費含む、消費税込)

特徴

1. ケーススタディやグループ討議などのアクティブラーニングを主体とし、管理者スキルを腹落ちさせていただきます。
2. 皆様の職場を事前に自己評価し、研修最後に課題解決のための道筋をつけていただきます。

カリキュラム(予定) カリキュラムは2025年度よりリニューアルしています

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自職場の分析 <p><1日目></p> <p>9:30 オリエンテーション</p> <p>10:30 ①私のトリセツ</p> <p>12:00 昼食</p> <p>12:45 ②聴く</p> <p>14:30 ③わかる</p> <p>16:00 ④マネジメント ケーススタディ</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>8:30 ⑤マネージャーゲーム</p> <p>10:30 ⑥フォロワーシップ</p> <p>12:00 昼食</p> <p>12:45 ⑦合意形成</p> <p>14:30 ⑧今どきの新入社員</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>8:30 ⑨フィードバック</p> <p>11:00 ⑩凡事徹底</p> <p>12:00 昼食</p> <p>12:45 午前中の続き</p> <p>13:30 ⑪私が直面する課題</p> <p>14:45 職場の問題解決</p> <p>16:00 終了</p> <p><事後課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が直面する課題、及び職場の問題解決の上司との共有
---	--	---

受講者様の活用度ご評価
4.8 (5点法)

受講者様の声

・実践的な演習が多く、どの場面でも活用できると感じました。職場では学んだ手法を活用して、風通しの良い職場にしていきたい。(40代)

・この研修で、一つの課題でも全員違った見方をすることを目の当たりにしました。これからは、色々な角度から答えを導いていきたい。(40代)

— 上級監督者を目指すための指針を与える —

狙い

企業をとりまく情勢の変化により、監督者は問題解決能力だけでなく、変化に柔軟に対応できるマネジメント能力やリーダーシップが求められています。本研修では講義を通じて視野を広げるとともに、他社・他職場の人たちとの交流を通じて監督者としての行動変容につながる気づきを与えることを目指します。

対象者

上級監督者(係長、作業長またはその候補)クラスの方

募集人数:30名/回
最少催行人数:10名

開催期日(2泊3日合宿研修)

第200回 7/29(水)~31(金)
第201回 10/21(水)~23(金)

場所

ARIC

参加費

99,000円/名
(宿泊費・食費含む、消費税込)



特徴

1. 高炉メーカー人事部門の講師による講義で労働環境、人材育成、ダイバーシティ等の問題への理解を深めます。
2. 事例研究でガバナンスやリーダーとしての行動を考察し、グループで討議します。
3. 課題研究で参加者の抱える職場の問題点を共有し、原因究明・対策立案についてグループで討議します。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自職場紹介資料 ・自職場の問題点整理 <p><1日目></p> <p>9:30 開始~チーム作り</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 講演 「これからの労働事情」</p> <p>15:00 事例研究①</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>8:30 開始~事例研究② 「八甲田山」鑑賞</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 グループ討議 「八甲田山」から学ぶ ~事例研究発表会</p> <p>15:30 課題研究(グループ討議)</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>8:30 開始 ~課題研究(グループ討議)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 課題研究(グループ討議)</p> <p>14:00 課題研究発表会</p> <p>16:00 終了</p>
---	--	--

受講者様の役立ち度ご評価
4.5 (5点法)

受講者様の声

- ・他社の人との意見交換ができてとても良かった。職場に戻ってから実施することと自身の行動に対して考えさせられ、よい研修になった。(50代)
- ・(講演) 高校生の就職時の志向を知る事ができてよかった。自職場の10代、20代の社員への声掛けの参考にしたい。(40代)

— 監督者としての役割遂行力を向上させる —

狙い

時代の変化にともなって職場の人員の年齢構成、若者の労働観の変化などに直面し、監督者は日々悩みを抱えて苦勞しています。本研修では教育・指導、安全、人間関係のテーマ別に同じ悩みを抱える仲間をグループを組んで討議していただき、受講者自身で解決の糸口をつかんでいただけます。

対象者

監督者クラスおよび候補者

募集人数:40名/回

最少催行人数:15名

場所

ARIC

参加費

合宿:99,000円/名

(宿泊費・食費含む、消費税込)

開催期日(2泊3日合宿研修)

第172回 5/13(水)~15(金)

第173回 8/19(水)~21(金)

第174回 11/11(水)~13(金)

第175回 2027/2/3(水)~5(金)

特徴

1. 高炉メーカー部長クラスによる講演で監督者に期待する職務遂行上の心構え等を体験談も交えながら聴講します。
2. テーマ別に編成したグループによる討議により、各職場での課題を共有化し、原因究明や対策立案について、他社他職場のメンバーと討議します。また、メンバー間で相互観察を行い、フィードバックを実施します。



カリキュラム(予定) グループ討議のテーマは①教育指導 ②安全 ③人間関係から選択

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介資料 ・自職場紹介資料 ・自職場の問題点整理 <p><1日目></p> <p>9:30 開始~チーム作り</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00~ グループ討議</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>8:30 開始~中間発表会</p> <p>10:00 講演(高炉メーカー部長) 「期待される監督者の役割」 ~ 質疑</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 グループ討議 続き</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>8:30 開始~最終発表会</p> <p>10:00 講演(外部講師) 「リーダーのあり方」</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 情報提供</p> <p>14:00 各自の実行計画書作成</p> <p>16:00 終了</p> <p><事後課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の実行計画書 遂行
--	---	---

受講者様の役立ち度ご評価
4.6 (5点法)

受講者様の声

- ・部下とのコミュニケーションの取り方や教育・指導方法のイメージができた。実行していきたい(20代)。
- ・(講演)自分の課題である職場の人間関係やリーダーとしてのあり方をわかりやすく教えて頂けた。ぜひ自職場で展開していきたい(30代)。

5	中堅リーダー研修
----------	-----------------

— 一部屋を飛び出しリーダーシップを経験学習しよう —

狙い
 昨今、従来のトップのみがリーダーシップを発揮し、メンバーを引っ張っていくスタイルだけでは、環境変化が激しい時代に対応できないことが指摘されています。このような中、メンバー一人一人がリーダーシップを発揮することが望まれています。本研修では、職位によらないリーダーシップを経験学習し、職場に良い影響を与えるリーダーの育成を目指します。

対象者

今後、職場のリーダーとなって活躍してほしい人

募集人数:42名/回
 最少催行人数:10名

開催期日(2泊3日宿泊研修)

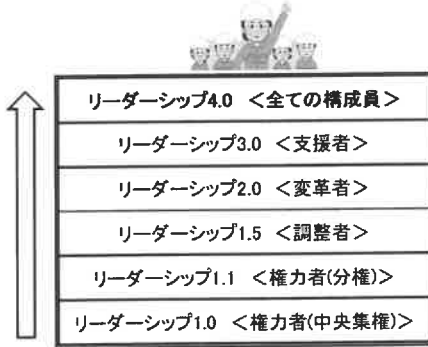
- 第153回 4/22(水)～24(金)
- 第154回 5/27(水)～29(金)
- 第155回 10/28(水)～30(金)
- 第156回 11/24(火)～26(木)

場所

ARIC

参加費

99,000円/名
 (宿泊費・食費含む、消費税込)



特徴

1. 野外体験学習を通じ、リーダーシップについて経験学習をします。
2. 研修中、チームメンバーの相互観察を行い、メンバー間でのフィードバックを実施します。
3. 事前課題の「自職場の問題点」について、研修での学習を活かし、セルフコーチングすることで、より成果を上げやすくします。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介資料 ・自職場の問題点整理 <p><1日目></p> <p>9:30 開始</p> <p style="padding-left: 20px;">チーム作り</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 リーダーシップ演習</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>8:30 開始</p> <p style="padding-left: 20px;">自職場の問題点発表</p> <p>10:00 野外体験学習</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 野外体験学習続き</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>8:30 開始</p> <p style="padding-left: 20px;">グループ討議</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 グループ討議発表</p> <p>14:00 フィードバック</p> <p>14:30 自職場の問題点再整理</p> <p>16:00 終了</p> <p><事後課題></p> <p style="padding-left: 20px;">自職場の問題点への取組み 上司面談、遂行</p>
---	--	--

受講者様の活用度ご評価
4.8 (5点法)

受講者様の声

- ・事前準備、トラブル想定、チームワークの大切さを学んだ。特に、トラブル時の安全確保につながる重要な感性を学びました。(20代)
- ・リーダーになるためのあり方が分かった。特に後輩指導においては、一方的に教えるのではなく、相手の考えを聴きながら実施していきたい。(30代)

—他社の若手社員との合宿研修、グループ討議を通じ、 若年層の意識改革、意欲向上を図る—

狙い

若手層は、製造現場の技能伝承の受け皿となるべき重要な階層で、技能向上、安全管理等のもとより各種課題に対する前向きで自律主体的な姿勢と意識改革が望まれています。

本研修では、共通課題(選択テーマ)のグループ討議や演習を通じてコミュニケーションの取り方、大切さへの気付きと問題解決に対する主体性、解決力を高めます。

対象者

後輩が出来た若手に来て欲しい！

募集人数:40名/回

最少催行人数:15名

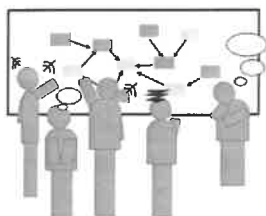
開催期日(2泊3日宿泊研修)

第85回 6/10(水)～12(金)

第86回 9/16(水)～18(金)

第87回 12/16(水)～18(金)

第88回 2027/1/27(水)～29(金)



場所

ARIC

参加費

99,000円/名

(宿泊費・食費含む、消費税込)

特徴

1. 他社の同年代の参加者とグループ討議を行うことで色々な視点での考え方や問題解決に対する姿勢についての刺激を受けると共に問題解決に対する主体性、解決力を高めます。
2. 「上司からの手紙」「工場長の講話」を通じて自己の役割、あるべき姿を見つめ直します。
3. 最終的に自職場の課題に対しての実行計画を自ら主体的に作成し、上司の方に確認頂き実際に実行していただきます。

カリキュラム(予定) グループ討議のテーマは①教育指導 ②安全 ③人間関係から選択

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介資料 ・自職場の問題点整理 <p><1日目></p> <p>09:30 研修開始 (上司からの手紙の精読)</p> <p>(1)グループ作り 研修での目標設定</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 (2)情報交換 (3)共通課題の設定</p> <p>★グループ演習Ⅰ</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>08:30 開始</p> <p>中間発表会</p> <p>10:00 「これからの若手 への期待」 講師;鉄鋼大手工場長</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 (4)原因追究 (5)対策立案と評価 (6)実行計画の作成</p> <p>★グループ演習Ⅱ</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>08:30 開始</p> <p>最終発表会</p> <p>★コミュニケーション実習他</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 研修の振り返り 各自の実行計画書作成 ※スタッフとの個人面談</p> <p>15:30 終了</p> <p><事後課題></p> <p>各自の実行計画書 遂行</p>
---	---	---

受講者様の役立ち度ご評価 4.6 (5点法)

受講者様の声

- ・グループ討議での会話を通じてコミュニケーションの大切さを学びました。(20代)
- ・同業他社の方の色々な視点での意見が聴けて参考になった。(20代)
- ・他社の工場長の講話で安全面、若手への期待を聴いて勉強になった。(20代)

— 学生から社会人に早期変身 —

狙い

学生から社会人へのマインドチェンジを図ります。社会人としての、コミュニケーション能力、積極性・自主性、チームワークを養成します。

対象者

新入社員
(中途採用の方も歓迎します)

募集人数:42名/回
最少催行人数:20名

開催期日(4泊5日宿泊研修)

4/6(月)～10(金)

参加費

126,000円/名
(宿泊費、食費、移動費用含む、消費税込)

場所

ARIC及び京都寺院



学生から社会人へ!
・マナー
・仕事の進め方
・安全 など

特徴

1. グループ討議を重視し、コミュニケーション能力を高めます。
2. 野外体験学習を通じ、チームワークの重要性を体感できます。
3. 非日常の寺院体験学習により、改めてご自身を見つめることができます。
4. 研修最後に、目標設定をすることで、モチベーションを上げて、元気に会社に戻っていただきます。

カリキュラム(予定)

<p><1日目> 10:30 オリエンテーション チーム作り 13:00 会社生活の基礎 ・学生から社会人へ 18:00 夕食 18:30 終了</p>	<p><2日目> 9:00 会社生活の基礎 ・社会人マナー ・安全 ・コミュニケーション 18:00 夕食 18:30 終了</p>	<p><3日目> 6:00 ホテル発 8:30～18:00 寺院体験学習 食事込み 19:30 ホテル着</p>	
<p>いずれも12～13時が昼食です 3日目の朝食は各自でおとりください</p>		<p><4日目> 9:00 野外体験学習 18:00 夕食 18:30 終了</p>	<p><5日目> 9:00 会社生活の基礎 ・仕事の進め方 ・コンプライアンス ・私の目標 15:30 終了</p>

受講者様の役立ち度ご評価
4.9 (5点法)

受講者様の声

・学生と社会人は全く違うことが分かりました。今与えられた仕事を天命だと思って取り組みます。(10代)
・5日間で多くのことを学びました。配属後は、挑戦する気持ちを忘れずに、安全第一で頑張ります。(10代)

8	<h1>ザ・仕事の教え方研修</h1>
----------	---------------------

—セオリーを知って、創意工夫でさらに磨きを—

狙い
 階層別などの研修で、「指導者が教え方を知らない」という問題点が度々上がります。また、製造業における人材育成の問題点第1位として「指導する人材が不足している」*ことがあげられています。これらの製造現場共通の課題から、改めて教え方について考える研修です。教え方のセオリーのみならず、トレーナーとしてのあり方を含め考えます。
 (*2025年度版ものづくり白書より)

対象者

部下、後輩に仕事を教える立場の方

募集人数:42名/回

最少催行人数:10名

開催期日(2日間通い研修)

第3回 8/27(木)～28(金)

参加費

55,000円/名(消費税込)

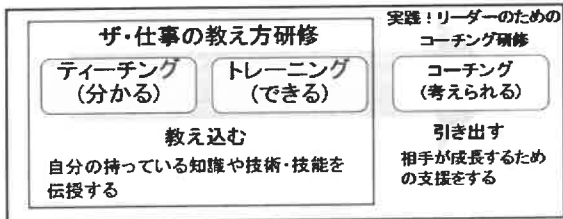
昼食は各自でお取りください。

場所

ARIC

特徴

1. 教え方の分類やセオリーなど体系だった教え方を学びます。また、トレーナーに必要なコミュニケーション能力について考えます。
2. Gr討議、演習などの体験によるアクティブラーニングをフル活用し、研修内容の定着を図ります。
3. 皆様で世界に一つだけの人材育成ノウハウ集を作っていただきます。



実践！リーダーのためのコーチング研修と合わせて受講していただくとより効果的です。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を教える、教わることでうまくいったこと、行かなかったことの整理 ・デジタル技術活用のメリット、懸念点整理 <p><事後課題> やってみたいことの上司様との共有</p>	<p><1日目></p> <p>9:30 開始</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ノウハウ集ドラフト作成 2. トレーナーとしてのやり方 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の教え方 <p>12:00 昼休憩</p> <p>12:45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能の教え方 ・デジタルツールの活用 <p>17:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>9:30 開始</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. トレーナーとしてのあり方 <ul style="list-style-type: none"> ・ちょこっとコーチング <p>12:00 昼休憩</p> <p>12:45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導とパワハラ <ol style="list-style-type: none"> 4. 研修のアウトプット <ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウ集の見直し ・実践への道筋 <p>16:00 終了</p>
---	---	---

受講者様の活用度ご評価
4.8 (5点法)

受講者様の声

- ・技能伝承のやりかたは初めて知った。自職場で活用したい。(30代)
- ・トレーナーのあり方を考えさせられた。職場では「決めつけない」、「即答しない」、「素直な心」で、「傾聴、承認、質問」を意識して後輩を指導したい。(20代)

— 成果を出す組織を作るために

— リーダーが持つべきコーチング技術を学ぶ —

狙い

組織が成果を出すためには、メンバーが主体性を持ち最大限の能力を発揮し、活発な組織運営を実現する必要がある。これを職場で実現するためにリーダーが持つべきコーチング技術を身につけていただくことを目指します。

対象者

管理・監督者、補佐職。若手のリーダークラス、スタッフ。募集人数：30名/回、最少催行人数：10名

開催期日(2日間通い研修)

第13回 7/23(木)～24(金)

第14回 9/3(木)～ 4(金)

第15回 2027/1/14(木)～15(金)

場所

ARIC

参加費

55,000円/名(消費税込)

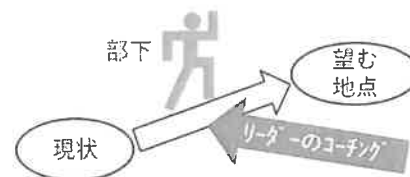
昼食は各自でお取りください。

【講師：齋藤 裕介 氏のプロフィール】

- ・心理カウンセラー。
- ・”毎日心理学ラボ”の室長。
- ・大学卒業後、大手保険代理店で勤務。
入社4年目にして営業部、課長に昇進。同年、営業成績・従業員満足度・顧客満足度の全てで全国1位を獲得。その後、営業だけでなく、様々な分野で活躍できる人材を育てたいと思い、独立。
- ・働き方に関する研修の受講者数はのべ1万人を超え、3人に1人が「今までで一番の研修！」と評価。
- ・また、総フォロワー数12万人以上のSNSでは「今すぐ使えて、一生役立つ心理学の知識」をテーマに毎日心理学の情報を配信中。

特徴

1. 経験豊富でエネルギッシュな外部講師が分かり易い講義と丁寧な指導を行います。
2. 他社や他職場の方たちとのグループ演習により、気づきや視野の拡大をしていただきます。
3. 1, 2によって、職場でのコーチング活用方法を習得していただきます。



カリキュラム(予定)

< 事前課題 >

職場の人間関係や
部下の指導・育成面に関する
アンケート

< 1日目 >

9:30 開始
・コーチングとは
(コーチング力、
コミュニケーション力、
人間性)
12:00 昼休憩
13:00 コーチング基礎
の实践
17:30 終了

< 2日目 >

9:30 開始
・自職場におけるコーチング
・行動が飛躍的に向上する
心の仕組み
12:00 昼休憩
・問題解決を鍛える対話法
・2日間の振り返り
16:00 終了

受講者様のご評価
4.9 (5点法)

受講者様の声

- ・コーチングと聞いた時、相手に何かをすることがメインになると感じていましたが、実際は自身の人間性やコミュニケーション力を磨くことが重要だと学べた。(30代)
- ・自分が変わらないと何も始まらない。意識が変われば行動が変わる。ポジティブ発言で前向きな捉え方をしていくことが重要だということ学べた。(40代)

— 自己成長を通じて、より生き活きとした職場へ —

狙い

ヒューマンスキル(HS)とは、対人関係を円滑に進めるためのスキルです。カツモデルによると、HSはどのマネジメント階層でも同じだけ必要とされています。この研修では、HSの各要素を経験学習し、自己成長につなげていただくことを狙いとしています。更に自己成長を組織の成長につなげ、より生き活きとした職場づくりにつなげていただきます。

対象者

現場監督者及びその候補者、スタッフ

募集人数:42名/回

最少催行人数:10名

開催期日(2泊3日宿泊研修)

第123回 7/1(水)～3(金)

第124回 12/21(月)～23(水)

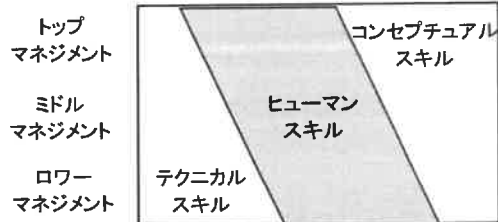
参加費

107,000円/名

(宿泊費・食費含む、消費税込)

場所

ARIC



カツモデル

特徴

1. 8つの能力を演習(経験)を通じ、省察→概念化を行い、ご自身の実践につなげていただける経験学習です。
2. 多様な観点から学ぶために、頻繁にペア、グループ替えを行います。
3. 研修後、ご自身の能力向上計画を立案し、上司様との面談で、認識を共有していただきます。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つの能力自己診断 ・対人関係の問題点整理 <p><1日目></p> <p>9:30 オリエンテーション</p> <p>①リスニング能力</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 ②コミュニケーション能力</p> <p>15:00 ③プレゼン能力</p> <p>18:00 夕食、懇親会</p> <p>19:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>8:30 開始</p> <p>④リーダーシップ</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 ⑤交渉能力</p> <p>14:00 ⑥コーチング能力</p> <p>18:00 夕食</p> <p>18:30 終了</p>	<p><3日目></p> <p>8:30 開始</p> <p>⑦ファシリテーション能力</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 マネジメント総合演習</p> <p>15:00 ⑧向上心</p> <p>16:00 終了</p> <p><事後課題></p> <p>能力向上計画の上司様との共有</p>
---	--	---

受講者様の役立ち度ご評価
4.5 (5点法)

受講者様の声

・これからデジタル化が進むが、それに負けない魂のコミュニケーションをしていく。この研修を必ず活かし、直面している問題を克服したい。(40代)

・初めて耳にすることはばかりで満足できる研修でした。今後のキャリアに置いてどれも不可欠なスキルであり、本研修テキストは常に脇に置いて業務に活用していきます。(40代)

—「伝える、聴く、対話する」を实践する—

狙い

年齢ギャップなどの問題で、コミュニケーションに悩みを抱える方が多く見られます。ここでは、理論だけではなく、「伝達力」、「聴解力」、「対話力」を通じ、コミュニケーションのツボを体験学習します。

対象者

管理・監督者から若手までの幅広い各層

募集人数:20名/回
最少催行人数:10名

開催期日

(3日間通い研修)

第38回 7/15(水)~17(金)

第39回 2027/1/20(水)~22(金)

*参加人数が少ない場合、演習時間が短くなるため、2日間に短縮する場合があります。



・伝達力
・聴解力
・対話力

場所

ARIC

参加費

73,000円/名

*2日間短縮の場合、49,000円/名
(いずれも消費税込)
昼食は各自でお取りください。

特徴

1. 研修経験が豊富なベテラン講師による独自のコンテンツです。
2. 演習、振り返り、分かち合いを繰り返し、実践することで、スキルを定着させていただきます。
3. 演習で、受講者同士学び合います。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題> ・スピーチ、トークの準備</p> <p><1日目> 10:00 開始 自己紹介:1分間スピーチ 伝達力 ・講義と演習:準備力、三原則、構成力 ・演習:3分間トーク 17:30 終了</p>	<p><2日目> 9:00 開始 聴解力 ・講義:傾聴力、メモ力、 図解力 ・演習:傾聴力 (3分間トーク) 17:30 終了</p>	<p><3日目> 9:00 開始 対話力 ・講義 ・演習:人間理解力 (3分間トーク) ・受講者同士の フィードバック 15:30 終了 いずれも昼休憩は12~13時</p>
--	---	---

受講者様の役立ち度ご評価
4.5 (5点法)

受講者様の声

- ・伝えたいことを簡潔に分かりやすく印象付けることを今後、実践したい。(40代)
- ・自分が知りたかったコミュニケーションスキルが良く分かった。(30代)

—働き方・意識改革を通じた自己成長の機会—

狙い

収益向上のため安全性を確保しながら生産性を向上させる事が益々求められています。また、定年延長に伴う職場の高齢化が進む一方で、役職の若返り化も進みつつあります。これらのさまざまな職場の環境変化がベテランの現場従業員のストレスを高めています。今のご自身を見つめ直すことで、レジリエンス力を向上させ、新たに挑戦・成長する機会をつかみ、前向きな一歩を踏み出すための“気づき”を得ていただくことを本研修では目指します。『随処作主 立処皆真』(臨濟録)

対象者

仕事や働き方、自己成長に関心のある方。

募集人数:15名/回、最少催行人数:8名

開催期日(1泊2日合宿研修)

第5回 7/7(火)～8(水)

場所

大本山妙心寺(京都)・花園会館(寺隣接)



大本山妙心寺(臨濟宗)

【臨濟宗妙心寺派大本山妙心寺のHPより】

参加費

82,000円/名 (宿泊費・食費含む、消費税込)

特徴

1. 講師は実務経験者
鉄鋼業界で勤務経験のあるキャリアコンサルタントです。
2. 禅の教えに学ぶ
坐禅や写経、高僧による法話から、誰もが持つ内面や仕事に対する普遍的な問いと向き合います。
3. 気づきと成長
坐禅や他社の方とのグループ討議を通し、ご自身の新たな可能性と前向きな一歩を踏み出す“気づき”を獲得します。

カリキュラム(予定)

<事前課題>	<1日目>	<2日目>
①研修前アンケート	9:00 開講、オリエンテーション、自己紹介、職場の概要	8:30 ・ライフラインチャート発表 ・第2回グループ討議 (自分の価値観、思考タイプ等)
②私の職場概要説明	10:00 坐禅1と法話	12:00 昼食
③ご自分自身の振り返り 及び情報交換資料作成	12:30 齋座(昼食)作法説明	13:00 ・第3回グループ討議 (仕事のヤリガイ向上)
④課題小冊子に関する アンケート	13:00 齋座(昼食)	・第4回グループ討議 (職場の悩み解決)
⑤ライフ・キャリアシートと ライフラインチャートの作成	14:00 写経と坐禅2	・行動計画書作成
	16:40 第1回グループ討議 (坐禅研修の学び等)	・2日間の学びと決意表明等
	18:30 夕食、懇親会	16:00 終了
	20:00 終了	

受講者様の役立ち度ご評価
4.5 (5点法)

受講者様の声

- ・自分との向き合い方、考え方、物事の捉え方、人生を、今を一生懸命に生きる方法を学びました。(30代)
- ・現状をありのままに受け入れることの大事さ。自分の身に起こったことをポジティブに捉え、失敗したことでもチャンスだと思えるように考え方を考えることが大切であることを学んだ。(50代)

ープレゼン3要素により、心を動かす技術を習得しようー

狙い

プレゼンテーション能力は、聞き手の心を動かして、望んでいる行動をとってもらうコミュニケーション能力の一つです。本研修では、小集団活動の発表能力、日常業務での伝達や職場でのコミュニケーション能力向上を目指します。

今後、プレゼン機会が増える若手の方のみならず、指導する立場の方についても、プレゼンテーションのポイントを学んでいただけます。

対象者

若手からベテランまでの幅広い各層

募集人数:12名/回

最少催行人数:8名

開催期日(2日間通い研修)

第19回 9/8(火)～9(水)

参加費

55,000円/名

(PCレンタル費含む、消費税込)

昼食は各自でお取りください。

場所

ARIC



特徴

1. パワーポイント(PCはこちらで準備)を用いた実用的な研修です。
2. 3つの要素を切り口として、プレゼンテクニックのみならず、あり方(姿勢)も学んでいただけます。適宜、復習をすることで、知識の定着を図ります。
3. 演習においては、テーマを明確にして、一つずつ積み上げていきます。
4. 発表、フィードバックを繰り返すことで、改善していく姿を実感していただけます。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習使用題材(自職場の問題点)の整理 <p><1日目></p> <p>10:00 オリエンテーション</p> <p>演習1.自己紹介</p> <p>13:00 演習2.アイコンタクト</p> <p>14:00 演習3.姿勢、表情、ジェスチャー</p> <p>15:30 演習4.事前課題にて</p> <p>17:30 終了</p>	<p><2日目></p> <p>9:00 開始</p> <p>演習5.プレゼンフレームワーク</p> <p>13:00 演習6.話法</p> <p>15:30 終了</p> <p>いずれも昼休憩は12～13時</p>
--	--

受講者様の満足度ご評価 4.4 (5点法)

受講者様の声

- ・一つ一つ留意点を意識しながらの演習は良かったです。今後、職場の若手にも参加してほしいです。(30代)
- ・話し方の姿勢が今までできていなかったことに気づきました。演習の回を追うごとに上手になっていくのが分かり、嬉しかったです。(30代)

—現場という宝の山を論理的思考で掘り起こそう—

狙い

言うまでもなく、現場は宝の山です。1)問題意識を持ってあるべき姿を描き、2)論理的思考で分析し、3)創造的な解決(対策)策を立案し、4)問題を解決する力を養う研修です。
ベテランや若手スタッフの方など自主管理活動の指導的立場の方の学び直しにも有効です。

対象者

若手からベテランまでの幅広い各層

募集人数:20名/回
最少催行人数:10名

開催期日

(3日間通い研修)

第144回 8/5(水)~7(金)

第145回 11/18(水)~20(金)

参加費

73,000円/名(消費税込)

昼食は各自でお取りください。

場所

ARIC



特徴

1. 講義、事例演習(個人検討及びグループ検討)、グループ討議(具体的事例)の3点セットにより学びを深化させます。
2. 講義テキストとは別に演習ノートを活用していただくことで、振り返りがしやすくなるように工夫しています。

カリキュラム(予定)

<p><事前課題> 「今、私が解決すべき問題」</p> <p><1日目> 10:00 オリエンテーション 問題の特定 12:00~13:00 昼休憩 15:30 グループ討議(グループテーマの選定) 17:30 終了</p>	<p><2日目> 9:00 開始 グループ討議発表 10:30 原因分析 12:00~13:00 昼休憩 14:00 課題設定 15:30 グループ討議(原因分析、課題設定) 17:30 終了</p>	<p><3日目> 9:00 開始 解決策の立案、 スケジュールの作成 10:30 グループ討議 (解決策立案、スケジュール作成) 12:00~13:00 昼休憩 14:00 グループ討議発表 15:30 終了</p>
--	--	--

受講者様の役立ち度ご評価
4.3(5点法)

受講者様の声

- ・問題解決の仕方が改めて確認できた。ロジックツリーは現場で活用したい。(50代)
- ・すでに起こっている発生型問題だけではなく、探索型、設定型問題についても職場で考えていきたい。(30代)

—理論と実習で学ぶ鉄鋼材料の基礎知識—

狙い

鉄鋼材料は種々の用途に使用されますが、鉄の歴史に始まり、特性に関する理論と材料特性を引き出す方法、これら理論に基づく製造方法までを理解していただく事を目指した基礎知識習得のための講習になります。

座学と同時に関連する材料試験等を隣接する試験センターで見学、実験データを入手して、これを整理し解説を受けることで更に鉄鋼材料に関する理解を深めます。

対象者

鉄鋼製造や品質管理に携わっている方、
鉄鋼製品を使用する仕事に携わっている方

募集人数 15名/回

最少催行人数 8名

※使用する施設の都合上、募集人数に達しましたら切らせていただきます。

開催期日(3日間通い研修)

第97回 11/4(水)~6(金)

第98回 2027/3/24(水)~26(金)

参加費

99,000円/名

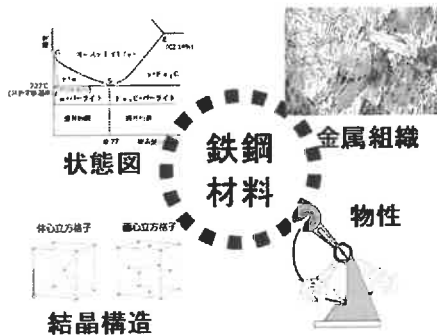
(教材費・実習費含む、消費税込)

昼食は各自でお取りください。

場所 ARIC

特徴

- 鉄鋼材料の基礎理論を座学で学び、実習や映像で理解を深めます。
- 実習は隣接する試験センターで見学しデータを受取り整理、講師から解説を受けます。
- 実習内容(以下項目の見学、データ整理)
 - 金属組織、破断面のSEM観察⇒データ有
 - 溶接熱影響部の硬度測定⇒データ有
 - 機械試験(引張試験、衝撃試験)⇒データ有
 - 各種溶接サンプルの確認(レーザー溶接他)



カリキュラム(予定)

講師 産業技術短期大学教授及び、鉄鋼メーカー研究所OB

<1日目>

08:30受付開始 09:00開始

【鉄鋼材料技術概論】

鉄の歴史、鉄鋼業の現状

11:00

【鉄鋼製造プロセスと金属学】

製鉄・製鋼・圧延

15:00

【金属の凝固と状態図】

相変化・凝固と状態図

鉄鋼材料の状態図と組織

連続铸造と品質

18:00終了

<2日目>

9:00開始

【鉄鋼材料の基礎①】

金属とは

結晶構造と延性

強度とは

13:00

【鉄鋼材料の基礎②】

熱処理

15:00

【実習】15:00~17:00見学

17:00データ整理と解説

18:00終了

<3日目>

9:00開始

【鉄鋼材料の腐食と防錆①】

鉄は何故さびる

鉄をさびから防ぐ

めっき鋼板の製造法と用途

13:00

【鉄鋼材料の腐食と防錆②】

塗装鋼板の製造法と用途

ステンレス鋼

15:30終了

いずれも昼休憩は12~13時

受講者様の講習全般のご評価

4.1 (5点法)

受講者様の声

- 座学と実験を組み合わせで行う事で、頭の整理をしやすかった。(40代)
- 鉄が持つ様々な特性を講義、実験を通して学ぶことができて良かった。特に状態図についてはこれまでよりもかなり理解が深まったと思う。(20代)

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

薄板三品(熱延、冷延、表面処理鋼板)の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。製品に関する説明だけでなく、鉄鋼の金属に関する基礎、製造プロセスなどを学ぶ事により品質や製品特性に関する知識をより深く学ぶことができます。

対象者

薄板の販売、営業所、商社、コイルセンター等の営業系社員

募集人数 40名/回

最少催行人数 15名

開催期日(2日間通い研修)

第26回 7/9(木)~10(金)

第27回 2027/2/18(木)~19(金)

場所

鉄鋼会館(東京)

参加費

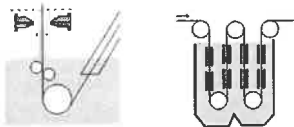
55,000円/名(消費税込)

昼食は各自でお取りください。

特徴

1. 薄板の製造工程、特徴と用途、めっきの種類と特徴を学び実際のサンプルで確認いただけます。
2. 薄板の品質、規格について学びます。
材料試験方法を簡易的な試験片を使用した実習で体験学習できます。
3. 参考書、事前テストで鉄鋼の基礎知識、用語を学んでいただき、講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を確認できます。

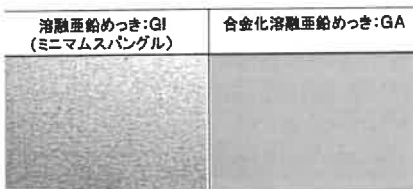
講師 薄板の製造、プロセス開発、技術サービスなどに携わった経験豊富な鉄鋼メーカーOB



溶融めっき

電気めっき

製造プロセス



めっき製品例

カリキュラム(予定)

<事前課題>	<2日目>
・事前テスト	08:30(会場開門)
<1日目>	09:00 開始
12:30受付開始	・ハイテン
13:00 開始	・【実習】引張試験実習
・鉄鋼の基礎	・規格
・薄板の製造工程	・品質
・表面処理鋼板	・修了テスト
18:00 終了	16:00 終了
	昼休憩は12~13時

受講者様の役立ち度ご評価
4.7 (5点法)

受講者様の声

・鉄鋼の基礎から、製造工程・表面処理等、1つ1つ丁寧に、細かく、わかりやすく講義をしていただき、とても勉強になりました。(20代)
・薄板の製造工程や品質などについて部分的な知識はあったが、研修を通じて鉄鋼の基礎知識とも関連付けて整理して理解する事ができたので、大変有意義でした。(30代)

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

厚板の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。
 製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。
 製品に関する説明だけでなく、鉄鋼の金属に関する基礎、製造プロセスなどを学ぶ事により
 品質や製品特性に関する知識をより深く学ぶことができます。

対象者

厚板の販売、営業所、商社、シェアリング
 会社等の営業系社員

募集人数 20名/回
 最少催行人数 10名

開催期日(2日間通い研修)

第12回 10/15(木)～16(金)

参加費

55,000円/名 (消費税込)
 昼食は各自でお取りください。

場所

鉄鋼会館(東京)

**用途例****特徴**

1. 厚板の製造工程、特徴と用途を学び実際のサンプルで確認いただけます。
2. 厚板の品質、規格について学びます。
 材料試験方法を簡易的な試験片を使用した実習で体験学習できます。
3. 講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を確認できます。

講師 厚板の製造技術、商品開発、技術サービスに携わった経験豊富な鉄鋼メーカーOB

カリキュラム(予定)**<事前課題>**

・事前テスト

<1日目>

12:30受付開始

13:00 開始

- ・厚板の製造方法
- ・厚板の用途
- ・厚板の特性
- ・溶接

18:00 終了

<2日目>

08:30 (会場開門)

09:00 開始

- ・厚板の規格
- ・【実習】引張試験実習
- ・厚板の試験・検査
- ・修了テスト

16:00 終了

昼休憩は12～13時

受講者様の役立ち度ご評価
 4.7 (5点法)

受講者様の声

- ・厚板の特徴から規格毎の用途まで幅広く学ぶ事ができて良かった。(20代)
- ・普段扱っている商品に関する熱処理や化学成分の内容が分かり非常に勉強になった。(20代)

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

鋼管の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。
 製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。
 鋼管の種類と特徴、用途(配管・塗覆装鋼管、建築構造用鋼管、ボイラー・化学工業用鋼管、自動車用鋼管、油井管、ラインパイプ)や今後の脱炭素社会での新たなニーズについて広く学ぶことができます。

対象者

鋼管の販売、営業所、商社、加工センター等の営業系社員

募集人数 20名/回
 最少催行人数 10名

開催期日(2日間通い研修)

第10回 11/26(木)～27(金)

参加費 55,000円/名(消費税込)

昼食は各自でお取りください。

場所

鉄鋼会館(東京)

特徴

1. 鋼管の製造工程、特徴と用途を学び実際のサンプルで確認いただけます。
2. 鋼管の品質、規格について学びます。
 試験片を使用した実習で鋼管の製造方法、品種毎の寸法精度、特徴について体験学習できます。
3. 講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を確認できます。



化学プラント



鋼管杭

用途例

講師 鋼管の製造、商品開発、プロセス研究開発に携わった経験豊富な鉄鋼メーカーOB

カリキュラム(予定)

<事前課題>

・事前テスト

<1日目>

12:30受付開始

13:00 開始

- ・鋼管の市場規模
- ・鋼管の製造方法
- ・二次加工
- ・試験・検査方法
- ・鋼管の規格、表示・梱包

18:00 終了

<2日目>

08:30(会場開門)

09:00 開始 ・【実習】鋼管測定実習

- ・用途別各論 配管・塗覆装鋼管
- ・ボイラー・化学プラント用・原子力発電用
- ・自動車用、建材用鋼管
- ・油井管、ラインパイプ
- ・2050年脱炭素社会に向けて
- ・修了テスト

17:00 終了

昼休憩は12～13時

受講者様の役立ち度ご評価

4.6 (5点法)

受講者様の声

・パイプ毎の製造法の違いに加え使用上の留意点や背景もご説明いただいた事でイメージしやすく、理解することができました。(20代)

・脱炭素のキーワードに関連する商品は役に立つと感じました。(30代)

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

棒鋼・線材の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。
 製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。
 棒鋼・線材(主に特殊鋼)では材料の特性を引き出すために熱処理や加工を行います
 が鉄鋼の基礎から広く学ぶことができます。

対象者

棒鋼・線材の販売、営業所、商社、加工等の
 営業系社員

募集人数 20名/回
 最少催行人数 10名

開催期日(2日間通い研修)

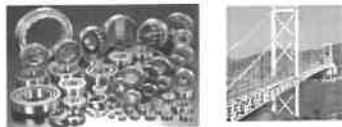
第8回 8/20(木)～21(金)

場所

鉄鋼会館(東京)

参加費

55,000円/名(消費税込)
 昼食は各自でお取りください。



軸受 橋梁用ワイヤー
 用途例

特徴

1. 棒鋼・線材の製造工程、特徴と用途を学びます。
2. 棒鋼・線材の品質、規格について学びます。
 材料試験方法と熱処理による鋼材への影響を2つの簡易的な試験片を使用した実習で体験学習できます。
3. 参考書、事前テストで鉄鋼の基礎知識、用語を学んでいただき、講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を確認できます。

講師 棒鋼・線材の商品開発、プロセス研究開発、品質保証などに携わった経験豊富な鉄鋼メーカーOB

カリキュラム(予定)

<p><事前課題> 事前テスト</p> <p><1日目></p> <p>12:30受付開始</p> <p>13:00 開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊鋼の生産量、鉄鋼材料の分類 ・棒鋼・線材の用途、自動車との関係 ・鉄鋼材料の基礎と各種熱処理方法 ・【実習】引張試験実習 ・棒鋼・線材の製造工程、製品の特徴 ・棒鋼・線材の代表的な試験方法 <p>18:00 終了</p>	<p><2日目></p> <p>08:30(会場開門)</p> <p>09:00 開始(以下部品例に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン主要部品と製造工程 部品の必要特性 ・【実習】熱処理試験実習 ・線材と線、種類、製造工程、用途、特性 ・工具鋼、ステンレス鋼の分類と用途 ・修了テスト <p>16:00 終了</p> <p style="text-align: right;">昼休憩は12～13時</p>
--	--

受講者様の役立ち度ご評価
 4.6 (5点法)

受講者様の声

・棒鋼、線材についての基礎が学べて良かった。特に仕事上で、あまり学べていなかった金属組織について詳しくなることができた。(20代)

・これまで曖昧であった知識が、今回の講義で体系化できたと思います。またイメージしにくかった熱処理についても、実験を通して、より明確にすることができました。(20代)

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

ステンレス鋼の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。
 製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。
 ステンレス鋼の成分体系に由来する種類と特徴、用途、適切な材料の選定方法について広く
 学ぶことができます。

対象者

ステンレス鋼の販売、営業所、商社、
 コイルセンター等の営業系社員

募集人数 20名/回
 最少催行人数 10名

開催期日(2日間通い研修)

第6回 2027/1/25(月)～26(火)

特徴

1. ステンレス鋼の製造工程、特徴と用途を学びます。
2. ステンレス鋼の品質、規格について学びます。
 学習した内容を基にグループ演習を行います。
3. 講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を
 確認できます。

場所

鉄鋼会館(東京)

参加費

55,000円/名(消費税込)
 昼食は各自でお取りください。



用途例

講師

ステンレス鋼の研究開発、商品開発、技術開発、
 若手技術系社員の教育指導、ステンレス協会での
 技術系事務局などに携わった経験豊富な鉄
 鋼メーカーOB

カリキュラム(予定)

<p><1日目> 12:30受付開始 13:00 開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス鋼の特徴と生産量 ・ステンレス鋼の種類と規格 ・ステンレス鋼の製造工程 ・機械的性質と物理的性質 ・ステンレス鋼の加工性 <p>18:00 終了</p>	<p><2日目> 08:30(会場開門) 09:00 開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス鋼の耐食性・耐熱性 ・ステンレス鋼の用途 ・ステンレス鋼の溶接 ・今後の課題と展望 <p>【グループ演習】 お客様のニーズ把握と適応鋼種選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了テスト <p>16:00 終了</p> <p style="text-align: right;">昼休憩は12～13時</p>
--	--

受講者様の役立ち度ご評価
 4.5 (5点法)

受講者様の声

- ・ステンレスに関してほぼ知識がなかったので基礎を細かく教えて頂き
 ベースの知識が身についた。(20代)
- ・どの用途にどのような性能のステンレス鋼が使用されるのか知ることが
 できた。(30代)
- ・研修で学んだ事をベースに演習することで理解できたか確認できた。
 (20代)

研修の申込から参加までの流れ

1. 募集案内送付

弊センターの研修システムに登録されている企業様には、開催約2か月前に募集案内を送付致します。登録されていない企業様には、①または②の方法で募集案内をご請求してください。

- ① 弊センターのホームページ募集案内送付申込 <https://www.isij-jinzai.com> から請求
- ② 直接弊センターの研修メールアドレス (info@isij-jinzai.com) に募集案内送付の依頼メールを送信

2. 募集申込

募集案内に添付された申込書に必要事項を記入し、募集案内に記載されている期限までに、メールまたはFAXで人材開発センターへ送付してください。

3. 参加案内送付

申込をされた企業様へ参加案内を送付致します。参加案内には、開催場所、日程、事前準備資料の作成要領、会場へのアクセス、持参すべきもの等を記載しております。

4. 参加

当日は所定の集合場所、時間に遅れないようお越してください。
尚、オンライン研修につきましては、参加案内でご連絡する方法でご参加ください。

5. お支払方法及びキャンセルポリシー

研修実施の翌月もしくは当月初めに請求書を発行いたします。請求書の指定口座に所定の期日までに振り込みをお願いいたします。

尚、研修前の3日間(土、日、祝日除く)以内のキャンセルは、参加費(前泊の方は前泊代含む)全額を請求させていただきます。



研修及び宿泊施設

No.	研修施設	所在地	電話番号	該当研修	宿泊施設	種類
1	ARIC (尼崎リサーチ・イン キュベーションセン ター)	〒660-0083 尼崎市道意町 7-1-3	06-6433-7758	<ul style="list-style-type: none"> ・私のマネジメント研修 ・監督者アドバンス研修 ・監督者テーマ別研修 ・中堅リーダー研修 ・若手社員テーマ別研修 ・新入社員研修 ・監督者ヒューマンスキル研修 	近隣ホテル	宿泊
				<ul style="list-style-type: none"> ・ザ・仕事の教え方研修 ・実践！リーダーのための コーチング研修 ・コミュニケーションスキル研修 ・プレゼンテーション研修 ・職場の問題解決研修 ・鉄鋼材料技術講習 	宿泊の必要な方は 各自で手配願います	通い
2	鉄鋼会館	〒103-0025 東京都中央区 日本橋茅場町3-2-10	03-3669-4855	・各商品研修	宿泊の必要な方は 各自で手配願います	通い
3	L stay & grow 晴海	〒104-0053 東京都中央区 晴海3-8-1	03-3533-7111	・管理者セミナー	合宿施設	合宿
4	大本山妙心寺	〒616-8035 京都府京 都市右京区花園妙心 寺町1	075-461-5226	・レジリエンス“ヤリガイ向上” 研修	花園会館 (妙心寺隣接)	合宿

※人材開発センター(ARIC)へのアクセスは裏表紙をご参照ください。

鉄鋼会館 案内図



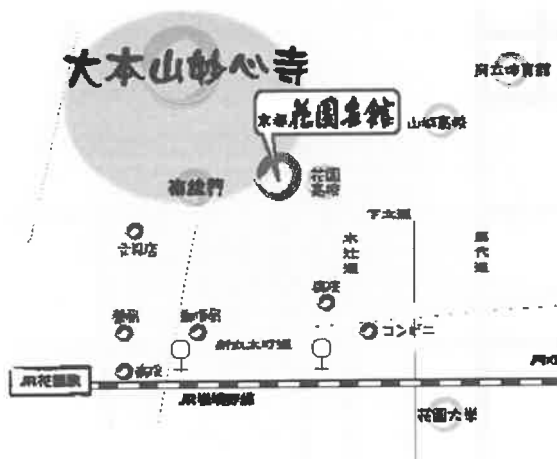
- 地下鉄東西線茅場町駅下車茅場町駅下車
12番出口(日本橋消防署方面)徒歩約5分
- 地下鉄日比谷線茅場町駅下車
1番出口(八丁堀方面)徒歩約5分
- 地下鉄日比谷線八丁堀駅下車
A5番出口(八丁堀交差点方面)徒歩約5分
- JR東京駅下車JR東京駅下車
八重洲口 徒歩約15分

L stay & grow 晴海 案内図



- ・都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」
A3b出口より 徒歩7分
- ・東京駅から電車 約30分
- ・羽田空港から電車 約40分

妙心寺/花園会館 案内図



- JR京都駅より、
- ・JR嵯峨野線(山陰線)12分、「花園駅」下車
徒歩7分
- ・タクシー約25分

人材開発センター(ARIC内)案内図



阪神電車・近鉄電車ご利用の方

●大阪方面から



●奈良・難波方面から



●神戸方面から

